



「新型介護タクシーの機材と環境」

渡辺福祉株式会社 渡邊正憲

福祉タクシーの仕様について

全長が5m83cm 幅1m88cm 高さ2m26cmもあります。通常のロングボディとは一回りも大きく見えます。長いので揺れを抑え、幅も広いので横揺れ・風の揺れには改善していますので、高速道路で遠方までの移送、ストレッチャーでの移送、痛みのある方には最適です。車内の仕様は多様有り、Dタイプを選択しています。車いすだけですと4脚、ストレッチャーと車いす2脚同時に搭載できる多彩なバージョンです。車内は広々していますので、退院、転院の際などは、広い空間の病室から狭い空間の車内が変わるので、圧迫感がありますが少しでも軽減できます。

エンジンも、2700ccのガソリン車なので、他車と比較にならない程静かです。また力があるのでゆとりの走行が可能になります。わかりやすいのは出発時・坂道・高速道路では違いがはっきり分かるほどです。特にベッドに横になっていた方が車で揺らされるわけですから、衝撃は少ないに越したことはありません。

リフトは、300kgまで対応できるので電動車いすも楽々上がります。昇降時の音もとても静かです。今回は車いすを固定するフック部にセンサーが付きまして、きちんと収まっていないと警告音が流れるので、安全度が上がっています。

対応する障害や病気など

私どもの「福祉・介護タクシー」を利用できる方は、要支援1以上、要介護1以上の方ならば自立歩行ができる方でもどなたでもご利用になれます。

この車両ではクベース（新生児）から自身専用設計車いす、電動車いす、競技用車いす、リクライニング車いす、ストレッチャーまで対応でき、車内も広いので圧迫感が少なく快適です。また、酸素、点滴、バルーンをつけたままでも移動・搬送ができます。搬送中は、心電図、痰吸入器、輸液ポンプ、シリンジポンプといった電気機器を使用できるようになっています。12V⇒100Vに変換するインバーター低圧変換機を装備。これは安定した電圧が得られます（インバーター）。タッグは医療緊急用を準備していますので安心です。



私どもが採用したリクライニング&ティルト&ベンチレーティングはミキ製でティルト式では横幅が1番小さいサイズですので、在宅での移動も考えられた設計です。利用目的：足を怪我して伸ばせない、関節が固まって伸ばせない、背骨を損傷して座った時に圧力をかけたくない、褥瘡がある方、座位が取りにくい方、横に身体が傾かないようにしたい方等に効力を発揮します。

機器の説明・改良点

車両専用ストレッチャーは骨組みが太く変更され、揺れ、きしみが軽減されました。利用者の方には大きな改良点です。高さ調整ができるので、ベッドの高さに合わせて変えられます。⇒移乗事故の軽減。

車いす：通常自走式 幅が42cmあるので男性でもゆったり座れます。

介助用車いす：メリット ひざ掛けが動くので移乗際にスムーズ足置きが回転、取り外しができるのでギリギリまでベッドに近づける為に移乗事故の軽減、

利用者の負担軽減につながる、16インチのタイヤで小回りができ、室内介助時に効力を発揮

車両に関して：車内は一利用ごとに清拭・殺菌・除菌・抗菌をしているので安心してご利用になれます。随所に花を置いていますので、心なごんでご乗車できます。



営業エリアと実績

平成28年2月に営業したばかりの新しい会社です。実践での経験は少ないですが、真心こめて対応させていただいています。平成28年4月「一般社団法人 東京福祉限定輸送協会」入会。毎月の勉強会にて知識と経験を学んでいます。営業エリアは「東京出発」か「東京終点」であれば全国どこまでも行きます。通常の運行でも広々空間なので快適ですが、長距離移動の際には揺れが少なくなるのでご利用者の方の負担が軽減されます。主な活動区域は八王子市・日野市・多摩市・府中市・立川市の多摩エリアになります。